



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2013年2月28日

株式会社 おきぎん 経済研究所

## おきぎん県内景況・速報（2013年1月分）

～回復力強まる県内景況～  
(今回、上方修正)

☆個人消費：スーパー売上高は全店ベースで前年同月を上回り、既存店ベースは下回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車登録台数も下回る。

☆建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

☆観光関連：入域観光客数は前年同月を上回る。ホテル稼働率は、那覇市内主要ホテルで前年同月を上回り、西海岸リゾートで前年同月を下回る。

観光施設入場者数は前年同月を上回る。

☆企業倒産：件数は前年同月と同数、負債総額は大幅に上回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：當銘、上地、喜瀬 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2013年1月分)

◎2013年1月 おきぎん「カトリア」景況図



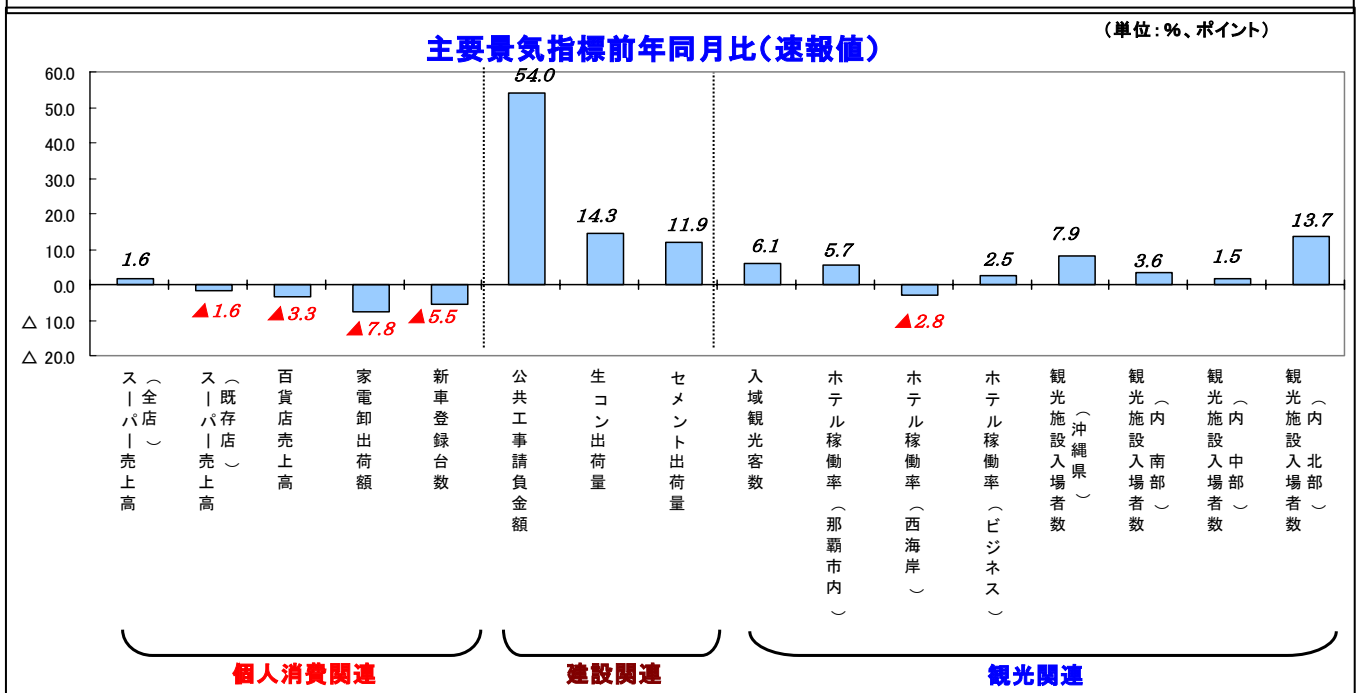
◎概況：個人消費関連の下支えが継続する中、  
観光・建設関連も強めに推移していることから、県内景況は回復力が強まっている。

1月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」が前年同月を上回り、「既存店ベース」は下回りました。百貨店売上高は衣料品などが低調で前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は地デジ関連製品の需要低迷等により前年同月を下回りました。新車登録台数は、エコカー補助金制度終了(2012年9月21日終了)の影響により、前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は沖縄県や市町村発注工事により前年同月を上回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は4ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率は那覇市内主要ホテル、ビジネスホテルにおいて前年同月を上回りましたが、西海岸リゾートホテルで前年同月を下回りました。観光施設入場者数は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みると、「個人消費関連の下支えが継続する中、観光・建設関連も強めに推移していることから、県内景況は回復力が強まっている」と景気判断を上方修正しました。(今回、上方修正)



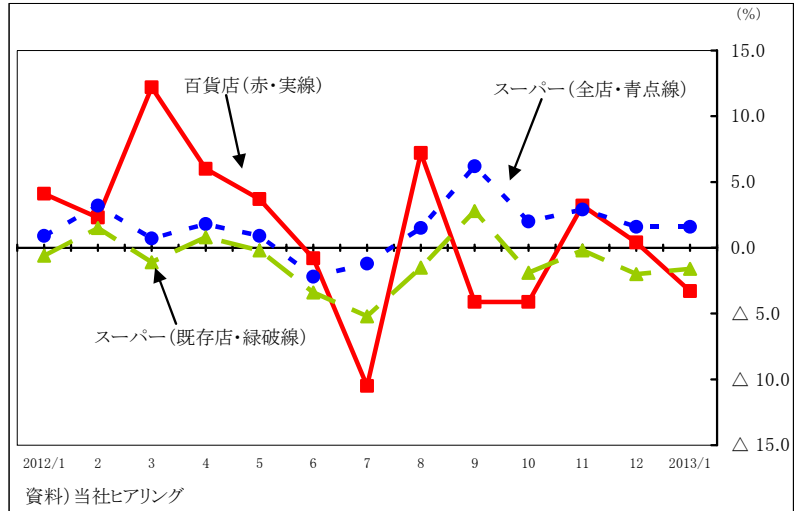


■ 個人消費: (ふつう)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベースで前年同月を上回り、既存店ベースでは下回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2012/1	0.9	△ 0.6	4.1
2	3.2	1.5	2.3
3	0.7	△ 1.1	12.2
4	1.8	0.8	6.0
5	0.9	△ 0.2	3.7
6	△ 2.2	△ 3.4	△ 0.8
7	△ 1.2	△ 5.2	△ 10.5
8	1.5	△ 1.5	7.2
9	6.2	2.8	△ 4.1
10	2.0	△ 1.9	△ 4.1
11	2.9	△ 0.2	3.2
12	1.6	△ 2.0	0.4
2013/1	1.6	△ 1.6	△ 3.3

注) 前年同月比



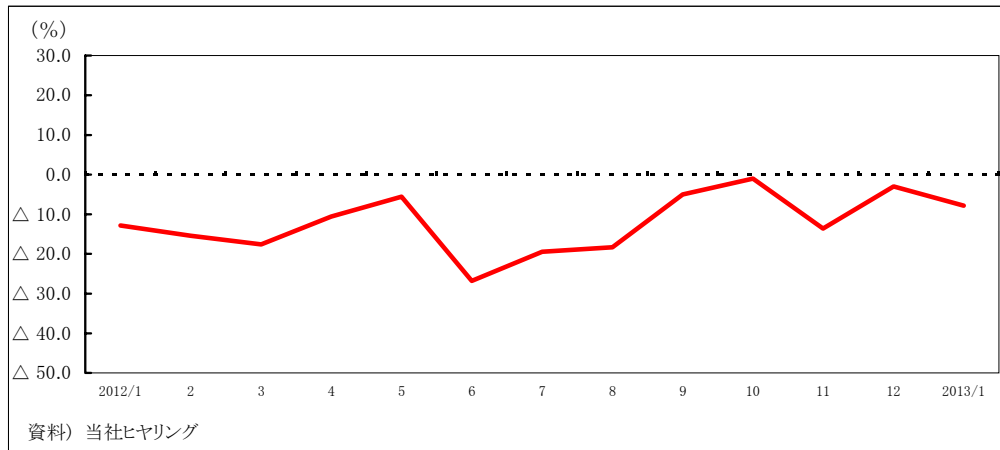
1月の個人消費関連では、スーパー売上高は、「全店ベース(前年同月比 1.6%増)」が6ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規店舗の出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同 1.7%増)」や「衣料品(同 1.9%増)」、「家庭用品(同 1.1%増)」が前年同月を上回りました。

一方、「既存店ベース(同 1.6%減)」では4ヵ月連続で前年同月を下回りました。(以下、既存店ベース) 品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 1.1%減)」は、旧正月(旧暦 1 月 1 日)の時期が昨年(平成 24 年 1 月 23 日)よりも今年(平成 25 年 2 月 10 日)は遅く、需要が 2 月にシフトしたことなどから前年同月を下回りました。「衣料品(同 1.9%減)」は、例年よりも 1 月下旬の気温が高く晴れた日も多かったことなどから、冬物衣料の売上が低調で前年同月を下回りました。家電を含む「家庭用品(同 3.1%減)」は、アナログ放送終了(2011 年 7 月 24 日)以降続いている地デジ関連製品の需要低迷などにより前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、例年よりも 1 月下旬の気温が高く、晴れた日も多かったことから衣料品などの売上が低調で、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同 3.3%減)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 8.8%減)」は、「婦人服(同 5.0%減)」が一部店舗の撤退や天候要因により前年同月を下回ったほか、「紳士服(同 8.3%減)」が天候要因、「子供服(47.6%減)」が売場縮小などにより前年同月を下回りました。また、「食料品(同 2.8%減)」も催事の売上が低調だったことなどから前年同月を下回りました。一方、「雑貨(同 7.9%増)」は、リニューアル効果(2012 年 3 月)の継続、「身の回り品(同 4.1%増)」は昨年 2 月に行ったアクセサリ催事を 1 月にシフトしたことなどにより前年同月を上回りました。

②家電卸出荷額…地デジ関連製品の需要低迷などにより前年同月を下回る。

単位:%	
沖縄県	
2012/1	△ 12.8
2	△ 15.4
3	△ 17.6
4	△ 10.6
5	△ 5.6
6	△ 26.8
7	△ 19.5
8	△ 18.3
9	△ 5.0
10	△ 1.0
11	△ 13.6
12	△ 3.0
2013/1	△ 7.8

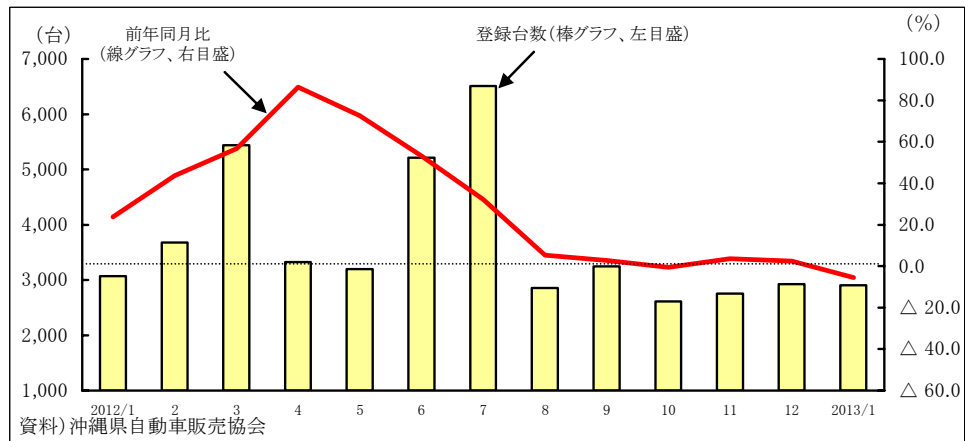


注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、アナログ放送終了(2011年7月24日)以降続いている地デジ関連製品の需要低迷などにより、テレビの売上が低調で全体を押し下げ、18ヵ月連続で前年同月を下回りました(同7.8%減)。品目別でみると、「テレビ(同45.6%減)」や「DVDレコーダー(同43.4%減)」が前年同月を下回りました。「冷蔵庫(同13.1%減)」や「洗濯機(同17.6%減)」は、エコ関連商品の需要が継続的に高まっているものの、高水準であった昨年程は伸びず、前年同月を下回りました。一方、「エアコン(同16.0%増)」は、新型商品の需要が好調に推移したことに加え、建築業者からの大型発注(アパート新築対応用など)などにより前年同月を上回りました。

③新車登録台数…エコカー補助金制度終了の影響などにより前年同月を下回る。

単位:台,%		
	台数	前年同月比
2012/1	3,072	23.7
2	3,679	43.7
3	5,439	56.7
4	3,323	86.3
5	3,200	72.6
6	5,212	53.2
7	6,511	32.1
8	2,856	5.3
9	3,248	2.7
10	2,613	△ 0.5
11	2,753	3.6
12	2,925	2.5
2013/1	2,902	△ 5.5



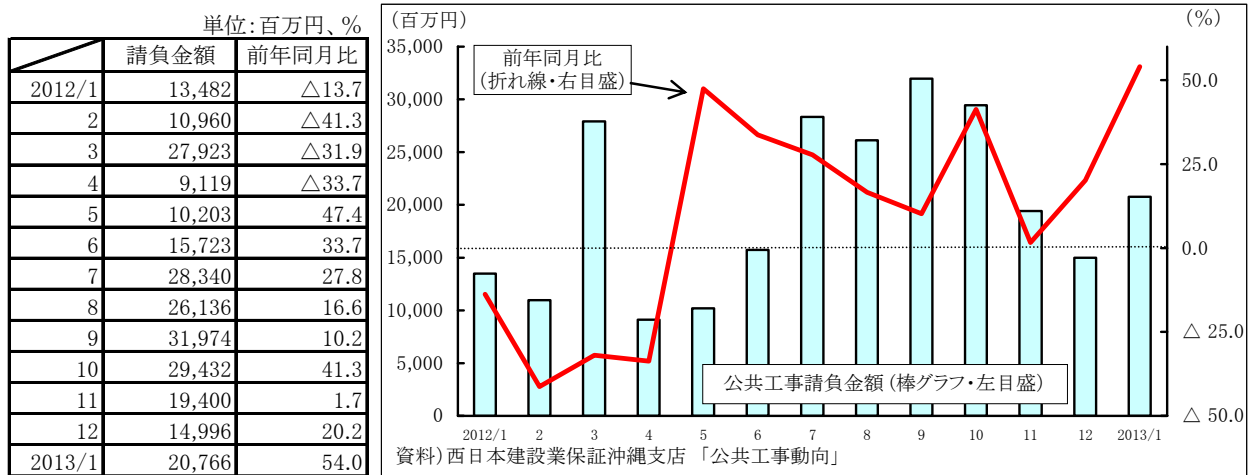
注) 前年同月比

**新車登録台数**は、全体で2,902台となり、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同5.5%減)。新商品(新車種、モデルチェンジ等)やレンタカーの需要が堅調に推移した「軽乗用車(同5.8%増)」は16ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、2011年12月に復活したエコカー補助金制度終了(2012年9月21日終了)の影響により、「普通乗用車(同25.2%減)」は5ヵ月連続、「小型乗用車(同20.7%減)」は3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。



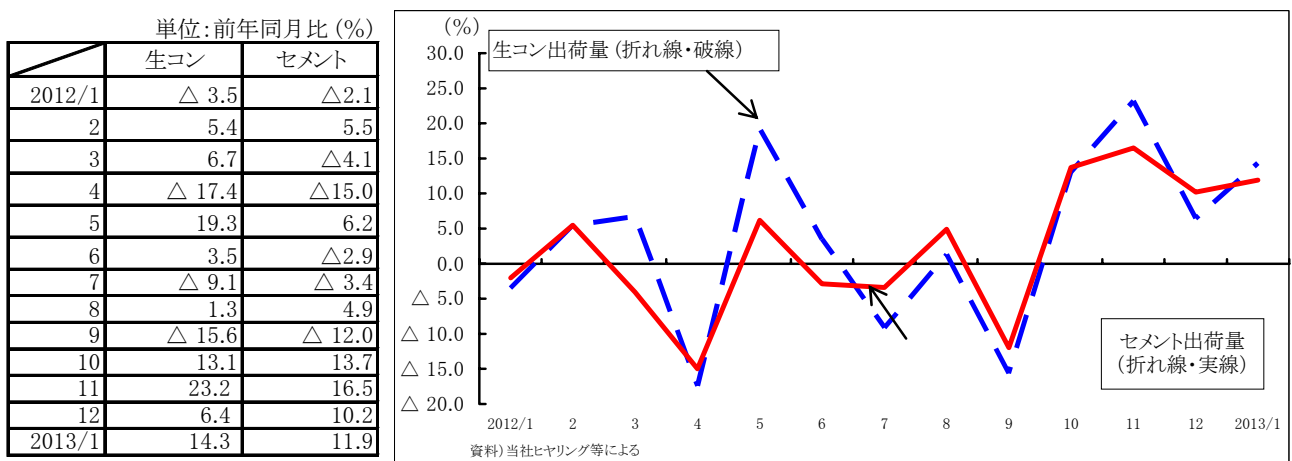
■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。



1月の公共工事請負金額は、前年同月比54.0%増の207億6,600万円となりました(9ヵ月連続増)。発注者別でみると、「その他の公的団体(同6.8%減)」が前年同月を下回ったものの、「国(同44.5%増)」は沖縄防衛局発注による嘉手納基地関連工事、「沖縄県(同89.8%増)」は中頭地区での高校校舎改築工事、「市町村(同44.8%増)」は那覇市内での市営住宅建替工事などにより前年同月を上回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

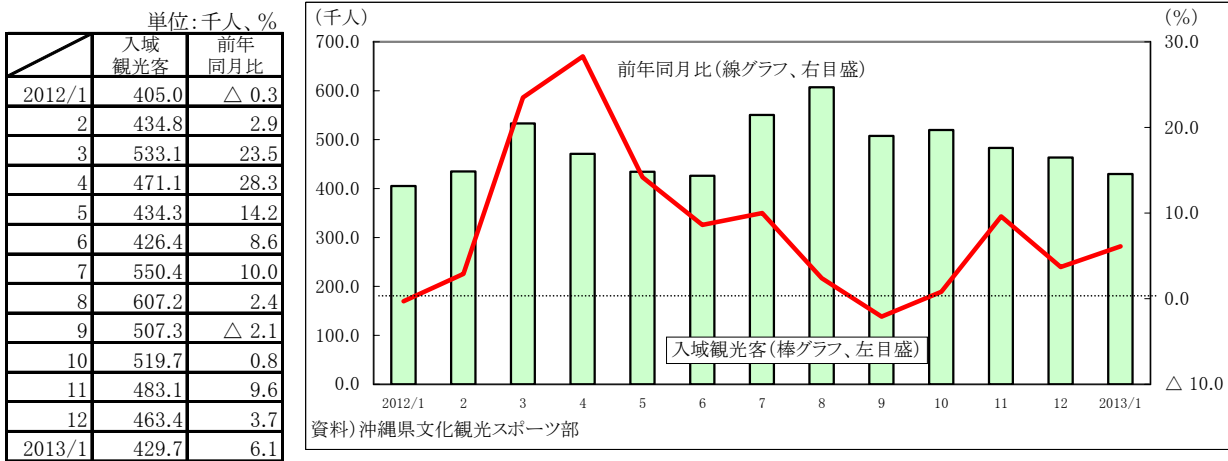


建設資材関連では、生コンの出荷量は14.3%増加し、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より15.9%増、民間工事向け出荷も13.3%増加しました。セメントの出荷量も11.9%増と4ヵ月連続で前年同月を上回りました。



■観光関連: (やや良い)

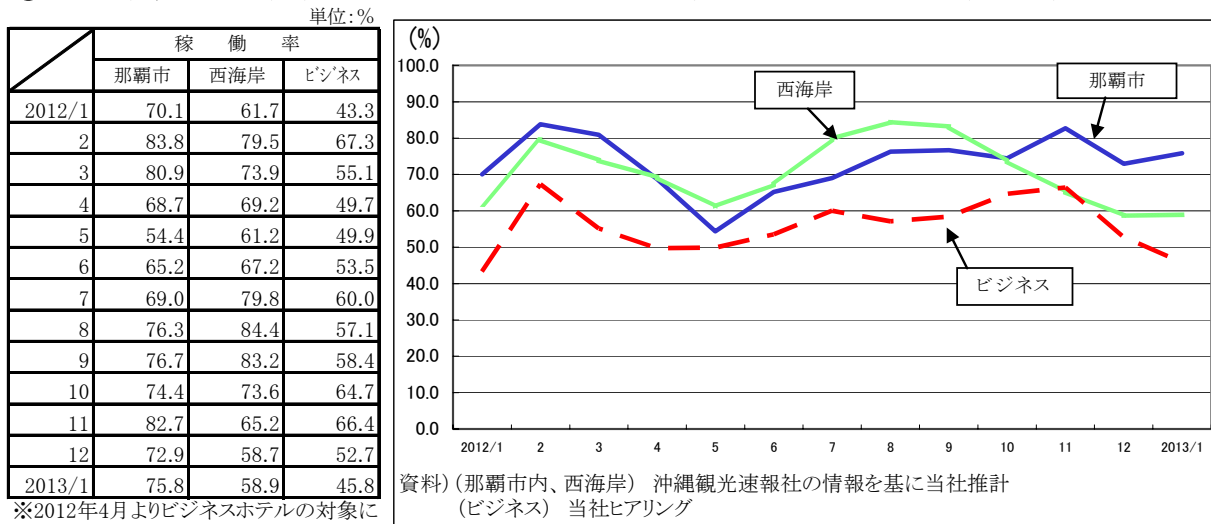
①入域観光客数…4カ月連続で前年同月を上回る。



1月の入域観光客数は、前年同月より6.1%(24,700人増)多い429,700人となり、4カ月連続で前年同月を上回りました。内訳をみると、「国内客(同7.5%増)」は年始年末の日並びの良さや、LCC就航等による効果などから前年同月を上回りました。主要路線別でみると、成田からの入域が大きく増加した「東京方面(同6.9%増)」を中心に全ての主要路線(「関西方面(同7.7%増)」「福岡方面(同0.8%増)」「名古屋(同11.5%増)」)で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同21.6%減)」は、15,600人(4,300人減)となり、3カ月ぶりに前年同月を下回りました。今年の春節(旧正月)が2月(前年は1/23)となったことから中華圏からの入域客数が大きく減少しました(「台湾(同18.0%減)」「中国本土(同89.1%減)」「香港(同59.1%減)」)。

②ホテル稼働率…那覇市内主要ホテル、ビジネスで前年同月を上回り、西海岸で前年同月を下回る。



※2012年4月よりビジネスホテルの対象に変更があった為、遡って修正している。  
\*那覇市内8ホテル、西海岸11ホテル、ビジネス7ホテル

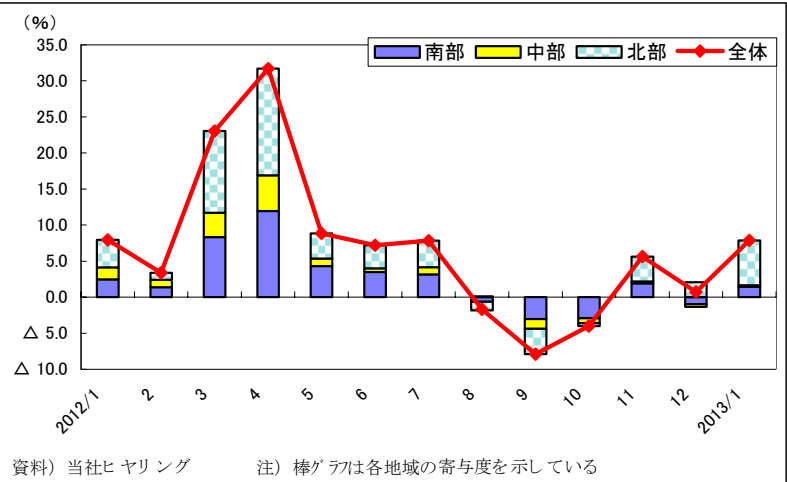
県内ホテル稼働率は、那覇市内主要ホテルが75.8%と5.7ポイント上昇(5カ月連続)、西海岸リゾートホテルが58.9%と2.8ポイント下落(3カ月ぶり)、那覇市内ビジネスホテルが45.8%と2.5ポイント上昇(11カ月連続)しました。

③観光施設入場者数…3カ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2012/1	8.0	6.1	11.4	8.5
2	3.4	3.5	8.0	2.0
3	23.1	20.2	24.7	25.2
4	31.7	29.7	33.4	33.0
5	8.8	10.7	7.5	7.6
6	7.2	8.5	4.3	6.8
7	7.8	9.5	8.9	6.6
8	△1.7	△1.8	1.0	△2.3
9	△7.9	△8.5	△11.0	△6.8
10	△4.0	△6.7	△5.1	△1.0
11	5.6	4.3	2.0	8.3
12	0.7	△2.2	△2.6	4.9
2013/1	7.9	3.6	1.5	13.7

\*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より7.9%増加(3カ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同3.6%増と2カ月ぶり、中部は同1.5%増と2カ月ぶり、北部は同13.7%増と3カ月連続で前年同月を上回りました。

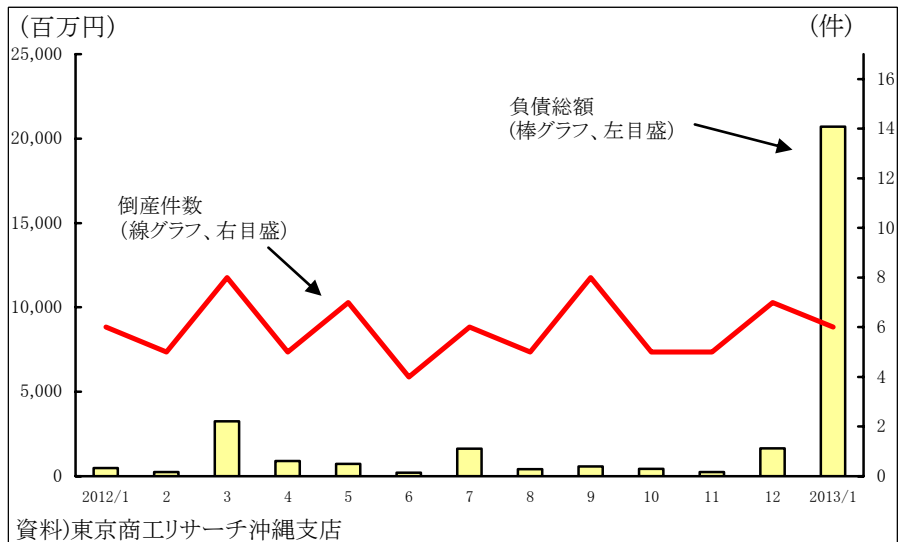


■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は大きく上回る。

単位: 百万円、件

	負債総額	倒産件数
2012/1	491	6
2	249	5
3	3,249	8
4	887	5
5	729	7
6	207	4
7	1,630	6
8	405	5
9	578	8
10	428	5
11	244	5
12	1,648	7
2013/1	20,703	6



1月の企業倒産件数は、6件(うち、10億円以上の大型倒産が2件、1億円以上の大口倒産0件)発生し前年同月と同数となりました。負債総額は207億3百万円と不動産賃貸業の大型倒産があり、前年同月の42.2倍となりました。